

オンライン合唱はどこまで可能か？

合唱指揮者の柳嶋耕太さんが行った合唱にZoomを使う実験がNHKで放映されました。Zoomとは、どんな端末からでも複数人が同時参加できるビデオ・Web会議のクラウドサービスです。PC、スマートフォン、タブレットなど普通のデバイスならZoomをインストールできます。マイクやカメラが付いていない端末でも外部機器を接続すれば参加できます。Windows、MacOS、Android、iOSなどあらゆるOSに対応しています。

実験をTwitterで知らせたところ、日本だけでなく海外も含めて29名が参加しました。今回の実験では、残念ながら通信にタイムラグがあり、同時に歌うのはまだ無理という結論でした。

「合唱のようなフォルマンの微細な変化や残響をリアルタイムに聴き分けて反応するような技術的前提があり、さらに楽曲にビートがない場合も多くアナログな反応が求められる、という状況に対してはまだまだまったく無力」と技術的課題を上げていますが、合唱にオンラインをどう使えるかさらに実験を続けるそうです。誰にでも簡単に使えるシステムの開発が期待されます。

♥LINEにチャレンジ…楽しく大失敗！

女声合唱団コーラル・ソシア 千野 千津

新日本フィルのテレワーク演奏「パプリカ」の動画に触発され、いささか浅はかではあったのですが、LINEグループ電話で合唱できる気がして試したのです。全員でやる前に、まずは伴奏と各パート古参の3名の計4名でのチャレンジ開始。わくわくが抑えきれない中、伴奏が始まりました…3パート一斉の歌い出しです…途端にひっちゃかめっちゃか。まるで婆さんが思い出しながら歌ってるようになってしまいました。私たちはタイムラグというものを全く予想していなかったのです。とにかく先に発した音が優先になり、それがピアノだったり誰かの声だったりです。でも4人が頑張っって合わせようとするも言葉では表現できない状態でした。おまけに必死な顔も♪

見えてるので結局大爆笑の渦で撃沈となったわけです。ちなみに新日本フィルのテレワーク合奏は、同じ音源を聴きながら個々が演奏した動画をPCに長けた団員さんのもとへ送信し、編集されたと思われます。これは動画にまとめれば楽しかろうが、合唱をしたいという願いは叶いません。ジレンマを抱え模索中です。ヤマハが、オンライン遠隔合奏サービスなるものを始めるという情報が団員から寄せられました。しかしながら最大5箇所6月頃からのこと。

令和版一揆が起きてもおかしくない

音楽家 鈴木 禎

外国や昭和以前の日本だったならば、今この瞬間の日本の政治に対して暴動や一揆が起きているかもしれない。一揆の起こし方や暴動の起こし方が分からない、いやそんな勇気がない。

ある有名人がTwitterやYouTubeで騒ぎまくった結果、土壇場で中間納税猶予で延滞金ゼロになったのを目の当たりにした。これが令和版一揆かも。

音楽はこれで廃業しなきゃかもしれないのでビビりでもやれる事はやっておこう。やらないうちはってレベルだけど、今自分があげられる声の方法はこれしか浮かばないので…

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた芸能芸術系業界に対する給付金、感染拡大防止協力金についての的々タイトルで、様々な自粛休業要請の為、仕事が軒並みキャンセルで収入がほぼゼロ、オンラインでやれそうな事を模索はしているが現在の政策の補償ではこの職業を続ける事に対して遅すぎて間に合わない(僕にとっては)、緊急なので的々内容をフリーランスの目線で以下のサイトにメールしてみた。

●首相官邸ホームページのご意見・ご感想

<https://www.kantei.go.jp/jp/iken.html>

●都政に対する苦情・要望、相談

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/ot/madoguchi/koe/index.html>

●東京都議会 ご意見・ご要望

<https://www.gikai.metro.tokyo.jp/FormMail/FormMail.html>